

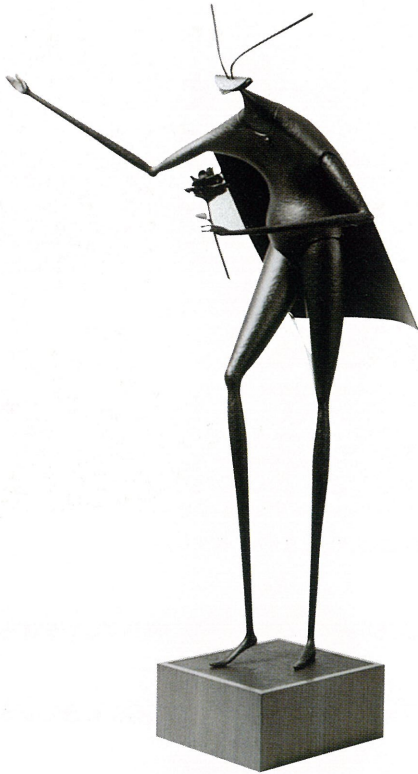
1994

「広島市立大学芸術展」広島市立大学芸術資料館

会期：1994年（平成6年）10月2日⇒10月16日

会場：広島市立大学芸術資料館

報告：若山裕昭



平成6年10月に広島市立大学芸術学部資料館において《広島市立大学芸術展》が開催されました。この《広島市立大学芸術展》は同年10月に広島市で開催された第12回アジア競技大会芸術展示の一環でした。

《科学と芸術を軸に世界平和と地域に貢献する国際的な大学》を基本理念として設立された本大学の開学記念も同時に兼ねた《広島市立大学芸術展》でした。

この《広島市立大学芸術展》には本大学芸術学部の教員の他、広島市立大学設立準備委員、専門部会委員の4名も招待作家として作品展示にご協力お願いしました。

[出品作家・作品リスト]

招待作家

平山郁夫《エジプトの少女》東京芸術大学長
山下恒雄《花園賛歌》広島市立大学初代芸術学部長
大藪雅孝《スモークサーモン》東京芸術大学教授
福井爽人《冬のオアシス》東京芸術大学教授
広島市立大学芸術学部教員

日本画

山中雪人《出山》、今井珠泉《飛翔》、倉島重友《紹興雨余》、
藁谷実《小樽の機関庫》、佐々木正《喧噪の街》

油絵

大歳克衛《馬の構図》、三原捷宏《潮流・夏》、堀研《牛飼い》、
友安一成《時 禱図》、吉井章《天の羽》、森永昌司《匣（はこ）》、

彫刻

細井良雄《とびたいガルダーのように》、綿引道郎《漂白》、
植草永生《歩くあたま》、前川義春《直径16500mmの円周上における
1対2対4体の弦》、伊東敏光《Stone Men》

デザイン工芸

清水英夫《The Middle Ages Town, TOLEDO (SPAIN)》、池田為明
《水平多節型高速組立ロボット データ・写真》、磯野清夫《流》、
潮 隆雄《遠山薄暮》、大井健次《Y地区修景基本計画のためのドロー
イング》、若山裕昭《変転するフロアー》、中嶋健明《プラチナポー
ジーリング》、及川久男《広島市立大学芸術展》ポスター、
鍛澤達夫《Per La Macchina Di Caf e Metodo》、南昌伸《DROP》、
吉田幸弘《自動車のアルミホイール》、倉内啓《MOON SHADE》、
永見文人《涙する果実》

尚、肩書きは平成6年当時

左：山下恒雄《花園讃歌》1972 鍛金鉄 W78×D57×H107cm

右：山下恒雄《夕映》1991 鍛金銅 W17×D17×H40cm